

■ 政治的教養を育む教育の取組 「生徒が主体的に取り組む地域活性化プロジェクト」

◇ ね ら い

生徒が主体的に地域の実情について考え、地域を活性化させるためのプロジェクトを行うことで、社会に参加し、自ら考え、自ら判断することができる主権者になるための意識を醸成することをねらいとしています。

- ◇ 日 時 平成29年3月11日（土）10時～19時
- ◇ 場 所 銀ビル・スカイラウンジ（旭川市4条15丁目）
- ◇ 参加生徒 本校2年生11名、旭川藤女子高校1名、
クラーク記念国際高校1名



【作成したリーフレット】

- ◇ 来 場 者 約400名

◇ 取 組 の 内 容

商店街の存在を知らなかった人や若い人にも足を運んでもらい商店街が再び元気を取り戻すため、1日限りのイベントを開催しました。なお、活動資金につきましては、クラウドファンディングを活用しました。

内 容

○次のイベントを実施しました。

- (1) 「K I D S 高校生と一緒に販売体験」
 - ・ 4名の小学生と一緒に、旭川銀座商店街で作られた大福やおやきなどを販売する職業体験を行いました。
- (2) 「銀座へGO」
 - ・ 高校生が作成した地図を頼りに、商店街をまわってキーワードを探すゲームを行い、キーワードを探し当てた人に景品をプレゼントしました。
- (3) 「高校生と一緒にアイシングクッキーを作ろう！」
 - ・ 高校生が来場した子どもと一緒に、あらかじめ用意していたアイシングクッキーに、色付きの砂糖でデコレーションしました。
- (4) 「龍神リョウガと遊ぼう！」
 - ・ ご当地ヒーローのキャラクターを呼んで、じゃんけん大会を行いました。
- (5) 「銀座の中心で〇〇を叫べ！」
 - ・ パフォーマーを募って、弾き語り・ジャグリング・カホンの演奏などを行いました。
- (6) 「東北復興支援物産販売」
 - ・ 石巻漁協と連携し、「生めかぶ」を取り寄せ、用意した袋に「詰め放題」で販売しました。

2 実施する上で工夫した点など

- (1) 生徒主体による企画・運営
 - ・ 教職員がサポートに徹することで、生徒が企画・運営を主体的に取り組んだことで、地域からの応援の声が予想以上の多くありました。
- (2) クラウドファンディングを活用した運営資金の確保
 - ・ 運営資金を確保するため、インターネットを介した「クラウドファンディング」を活用しました。

3 生徒の感想

- 「旭川を自分たちの力で変えてみたいという意志と中途半端な状態で終わらせたくないという気持ち、そして、多くの応援の言葉があったからこそ、無事に終わらせることができました。旭川のまちをもっと変えていきたいです。」
- 「プロジェクトを通して社会に出ることの大変さを感じることができました。学校では体験することができない貴重な経験をしたことで、私が働く時には、今回の経験を生かしたいと思います。」
- 見学旅行から帰ってきて、京都や大阪、東京といった都会の様子を見てきた後、自分の故郷である旭川がどれほど小さな街なのかを思い知り、このままでは、自分の故郷が、例えば10年後どうなってしまうのだろうかと考え、街づくりへの意識が強まっていきました。

4 成果と課題

- 生徒が主体的に企画・運営したことで、地域の課題を踏まえ活性化を図るための方策や社会に参画するための意義について理解を深めることができた。
- 予想以上に多く来場者があり、生徒がイベントの運営・企画を通して異世代と交流できたことで、自己達成感や自己肯定感を醸成することができた。
- 運営資金を確保するため、地域等からの支援が必要不可欠であることから、今後、本取組を継続していくための方策を検討する必要がある。



【KIDS高校生と一緒に販売体験の様子】



【銀ビル・スカイラウンジ】